

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公開番号】特開2014-114274(P2014-114274A)

【公開日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2014-033

【出願番号】特願2013-228962(P2013-228962)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/86

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月16日(2016.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の(A)～(C)成分を含有し、

(A)成分と(C)成分の含有質量比(A/C)が、0.01以上0.7以下である水中油型乳化組成物。

(A)アルキル基又はアルケニル基の炭素数が20以上24以下で、エチレンオキサイドの平均付加モル数が1.5以上4以下であるポリオキシエチレンアルキル又はアルケニルエーテル

(B)液状油

(C)疎水化処理微粒子金属酸化物粉末

【請求項2】

(C)成分の含有量が、組成物全量に対して0.1質量%以上30質量%以下である請求項1記載の水中油型乳化組成物。

【請求項3】

(C)成分が、酸化亜鉛、酸化チタン及び酸化セリウムから選択される1種又は2種以上の金属酸化物粉体を疎水化処理したものである請求項1又は2に記載の水中油型乳化組成物。

【請求項4】

前記微粒子金属酸化物粉末への疎水化処理が、シリコーン又はシリコーン樹脂を用いた表面処理及びメチルハイドロジェンポリシロキサンを用いた表面処理から選ばれる1種以上の表面処理である請求項1～3のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項5】

(B) 成分が、液状の有機紫外線吸収剤及び化粧料用油剤を含むものである請求項1～4のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項6】

液状の有機紫外線吸収剤が、パラメトキシケイ皮酸2-エチルヘキシリ、パラメトキシケイ皮酸2-エトキシエチル、パラメトキシケイ皮酸イソプロピル・ジイソプロピルケイ皮酸エステル混合物、トリメトキシケイ皮酸メチルビス(トリメチルシロキシ)シリルイソペンチル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸2-エチルヘキシリ、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸2-エチルヘキシリ、サリチル酸ベンジル、サリチル酸ホモメンチル、オクトクリレン及びジメチルジエチルベンザルマロンートから選ばれる1種以上である請求項5記載の水中油型乳化組成物。

【請求項7】

(B) 成分の組成物全量に対する含有量が、0.5質量%以上30質量%以下である請求項1～6のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項8】

さらに(D)水溶性高分子を含有する請求項1～7のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項9】

(D) 成分が、カルボキシビニルポリマー、アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体、キサンタンガム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリアクリルアミド、(アクリル酸Na/アクリロイルジメチルタウリンNa)コポリマー、及びヒアルロン酸又はそのアルカリ金属塩から選択される1種又は2種以上である請求項8記載の水中油型乳化組成物。

【請求項10】

(A) 成分と(B)成分の含有質量比(A/B)が、0.02以上1以下である請求項1～9のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項11】

前記水中油型乳化組成物の平均乳化粒子径が1～30μmである請求項1～10のいずれかに記載の水中油型乳化組成物。

【請求項12】

請求項1～11のいずれかに記載の水中油型乳化組成物からなる日焼け止め用皮膚外用剤。

【請求項13】

下記(A)成分～(C)成分を含有する油相成分を45超の温度で加温溶解し、当該油相成分と15～40の温度の水相成分とを乳化することを特徴とする水中油型乳化組成物の製造法。

(A) アルキル基又はアルケニル基の炭素数が20以上24以下で、エチレンオキサイドの平均付加モル数が1.5以上4以下であるポリオキシエチレンアルキル又はアルケニルエーテル

(B) 液状油

(C) 疎水化処理微粒子金属酸化物粉末

【請求項14】

前記水相成分中に油相成分を徐々に添加して乳化させる請求項12記載の水中油型乳化組成物の製造法。